



みやまえ Miyamae

9月号

令和4年 9月1日



学校HP QRコード

多くの方々に支えられ、150年。

6月号でもお伝えしましたが、本年度、宮前小学校は150歳を迎えます。本校の開校記念日は、9月10日です。昭和39年7月に、宮前・福田両中学校が合併し、滑川中学校が現在地に新設されました。8月に宮前中学校の移転が完了し、9月10日に、空いた中学校校舎に、宮前小学校が移転しました。その日を記念して開校記念日と決めました。その開校記念日に近い9月16日（金）に、開校150周年記念式典を実施いたします。本来であれば、地域、関係の皆様にご臨席いただき挙行する予定でございました。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えてこない状況です。感染拡大防止を優先し、実施することいたしました。そこで、式典の時間を制限、ご来賓を少人数に限定し、会場には6学年児童のみ参加、他学年児童は、教室でオンラインで参加します。改めて、保護者、地域、関係の皆様のご理解をお願いいたします。

さて、2学期が始まります。一回り大きくなった子どもたちとともに、学習や行事、様々な活動に一生懸命に取り組んで参ります。7月に、令和4年度西部地区小・中学校教育課程研究協議会が実施され、「主体的に学習に取り組む態度の評価の実際について」を協議題に、各教科領域で研修に参加しました。各教科領域とも「主体的に学習に取り組む態度」とは、「粘り強く取り組むこと」と「自らの学びを調整しようとする」との二つの側面があるということです。まずは、「粘り強く」を意識して、教師や友達からの言葉かけを丁寧に行い、子どもたちの「やった！できた！みてみて！」の声があふれるように、各行事の取組と児童の学びの支援を進めてまいります。



横断幕を校舎と体育館渡り廊下に
掲示しました。

開校150周年記念式典

- 1 日時 令和4年9月16日（金）
午前9:30 開式
- 2 会場 本校体育館（予定）
- 3 参会者 全児童・教職員
ご来賓
（滑川町長・滑川町議会議長・滑川町教育長）
記念事業実行委員

9月の主な予定

- 1日（木）始業式・3時間授業・一斉下校
- 2日（金）身体測定（456年）・4時間授業
給食開始
- 5日（月）身体測定（123年）・通常授業
- 7日（水）なかよしタイム
- 8日（木）委員会活動（56年）・夏休み作品展
- 9日（金）避難訓練・夏休み作品展
- 10日（土）開校記念日
- 13日（火）さわやか相談員来校（AM）
- 15日（水）クラブ活動（456）年・4年社会科見学
3年ピースキャラバン・読み聞かせ
スクールカウンセラー来校（PM）

- 16日（金）開校150周年記念式典
- 19日（月）敬老の日
- 21日（水）なかよしタイム
- 22日（木）クラブ活動（456年）
PTA常任委員会 13:30
あいさつ運動
- 23日（金）秋分の日
- 26日（月）5時間授業・一斉下校
- 27日（火）5時間授業・一斉下校・保護者面談
- 28日（水）5時間授業・一斉下校・保護者面談
- 29日（木）5時間授業・一斉下校・保護者面談
- 30日（金）5時間授業・一斉下校・保護者面談

教育実習生を紹介します。

立正大学から教育実習生が町内の小学校にきます。そのうち、本校には3名が学びに来ることになりましたので、紹介します。期間は、9月1日から9月30日までです。

男子学生
主に1年2組で学びます

男子学生
主に4年3組で学びます

女子学生
主に5年1組で学びます

私は将来 小学校教員になりたいと
考えています。強い精神力と体力に
自信があります。子どもと関わることに
責任感を持ち、一生懸命取り組み
ますので、一か月ほどになりますか、よろ
しくお願いします。

小学校から高校まで、野球をやっ
ていました。体を動かすことが好きで、球技
系のスポーツが特に好きです。教員に
なったら活かせる知識やスキルを
教育実習期間で身につけたいと思っ
ています。よろしくお願いします。

私は、小学校教諭を目指しています。
子どもたちとコミュニケーションを取ろう、現場
を体験し、積極的に学んでいます。
中学・高校では吹奏楽部に所属していました。
1ヶ月間、よろしくお願いします。

きれいにさせていただきました。

8月20日(土)に、PTA奉仕作業を実施していただきました。主に、校舎まわりの除草作業と、校舎のトイレ掃除をしていただきました。熱中症対策と新型コロナウイルス感染症対策をしながら、限られた時間の中できれいにさせていただきました。



滑川町シルバー人材
センターの方々にも、
ボランティアでご協力
いただきました。

本の紹介！今回は、校長です。

「その本は」 又吉直樹・ヨシタケシンスケ 著

夏休み中に、ふらっと本屋に立ち寄ったとき、「その本は」「ヨシタケシンスケ」「又吉直樹」の文字が目飛び込んできました。これまで両作家の作品を読んだことがなかったので、手にしました。

目が見えにくくなった、本の好きな王様に、二人の男が、世界中を旅して「聞いてきた本」を、話して聞かせるという物語です。

ヨシタケさんのかわいらしく、どこか意図を感じさせる絵と、又吉さんの伏線を回収していく話の流れ方に面白さを感じました。

町図書館POPコンテストまだ間に合います！（締切9月11日）

